

立川市自転車活用推進計画の施策の評価指標における達成状況(中間)					資料 2								
(計画期間:令和2年度～令和6年度)													
方針	施策	評価指標	目標値と各年度の実績値	現状	今後の実施方針								
1 安全性の向上	民間事業者等と連携した保険加入の広報・啓発	①自転車保険加入割合	<div>①自転車保険加入割合 (%)</div> <table><tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr><tr><td>H31年度</td><td>53.2</td></tr><tr><td>R2年度</td><td>77.0</td></tr><tr><td>R3年度</td><td>77.2</td></tr></table>	年度	割合 (%)	H31年度	53.2	R2年度	77.0	R3年度	77.2	市役所窓口等で自転車保険の加入義務化を周知している。駐輪場利用者へのアンケート調査によると、加入割合は順調に増加している。	引き続き、さまざまな媒体で周知し、目標値の達成を目指す。
	年度	割合 (%)											
H31年度	53.2												
R2年度	77.0												
R3年度	77.2												
	高齢者向けの自転車安全教育 企業における自転車安全教育	②安全教育受講経験者割合	<div>②安全教育受講経験者割合 (%)</div> <table><tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr><tr><td>H31年度</td><td>52.2</td></tr><tr><td>R2年度</td><td>70.8</td></tr><tr><td>R3年度</td><td>70.9</td></tr></table>	年度	割合 (%)	H31年度	52.2	R2年度	70.8	R3年度	70.9	駐輪場利用者へのアンケート調査によると、受講経験者割合は順調に増加している。	すでに現時点で目標値を達成しているが、引き続き、施策を着実に実施し、さらなる数値の向上を目指す。
年度	割合 (%)												
H31年度	52.2												
R2年度	70.8												
R3年度	70.9												
2 快適性の向上	駐輪環境の快適性向上	③思いやりエリア設置施設数	<div>③思いやりエリア設置施設数</div> <table><tr><th>年度</th><th>施設数</th></tr><tr><td>H31年度</td><td>10</td></tr><tr><td>R2年度</td><td>10</td></tr><tr><td>R3年度</td><td>11</td></tr></table>	年度	施設数	H31年度	10	R2年度	10	R3年度	11	・満車になりやすいなど利用台数が多い駐輪場での運用やラック等の既存設備の対応等が課題となり、設置施設数が伸びていない。 ・駐輪場利用者にとって「思いやりエリア」の対象がわかりづらいなど、管理面での課題が生じている。	・目標値は計画策定時における全有料駐輪場の施設数であるが、自転車利用の状況等を見ながら、適正な設置施設数について検討する。 ・他市の運用状況を参考にしながら、対象とする自転車を明確にするなど、周知及び運用について検討する。
		年度	施設数										
	H31年度	10											
	R2年度	10											
R3年度	11												
	④定期利用抽選倍率(抽選対象施設平均)	<div>④定期利用抽選倍率 (倍数)</div> <table><tr><th>年度</th><th>倍数</th></tr><tr><td>H31年度</td><td>4.0</td></tr><tr><td>R2年度</td><td>1.9</td></tr><tr><td>R3年度</td><td>2.2</td></tr></table>	年度	倍数	H31年度	4.0	R2年度	1.9	R3年度	2.2	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う市内全体の駐輪台数の減少により、定期利用抽選倍率も減少している。 ・令和2年 10 月の曙町一丁目東臨時有料自転車駐車場の定期利用専用化が抽選倍率の減少につながった。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うテレワーク等の普及により、すでに現時点で目標値を達成しているが、ウィズコロナの中での今後の定期需要について引き続き、注視していく。	
年度	倍数												
H31年度	4.0												
R2年度	1.9												
R3年度	2.2												
	多様な自転車が利用しやすい環境整備	⑤多様な自転車が利用しやすい環境整備の実施	— (目標値なし)	駐輪場の利用状況や利用者からの意見を参考に、北口第三有料自転車等駐車場にて、令和3年度にスタンド無し自転車用のサイクルスタンドを、令和4年度に施設への施錠が可能なエリアを試験的に設置した。	引き続き、自転車の利用状況を注視するとともに、利用者からの意見を参考にしながらニーズに対応可能な施設を増やすなど、多様な自転車が利用しやすい環境を整備していく。								
	自転車撤去の実施と今後のあり方に関する検討	⑥市内放置自転車台数(10月のうち任意の晴天の1日 午前11時の放置自転車台数)	<div>⑥市内放置自転車台数 (台数)</div> <table><tr><th>年度</th><th>台数</th></tr><tr><td>H31年度</td><td>238</td></tr><tr><td>R2年度</td><td>131</td></tr><tr><td>R3年度</td><td>50</td></tr></table>	年度	台数	H31年度	238	R2年度	131	R3年度	50	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う人流の抑制により、放置自転車台数が大幅に減少した。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、すでに現時点で目標値を達成しているが、ウィズコロナの中での今後の放置状況について引き続き、注視していく。
年度	台数												
H31年度	238												
R2年度	131												
R3年度	50												
3 新たな価値の付加	商業・観光関係者等と連携したシェアサイクル導入検討	⑦シェアサイクルの実施	— (目標値なし)	令和3年度に運営事業者の公募及び選定並びに運営事業者と協定を締結し、令和4年度より3年間の実証実験を開始した。	公共交通機能の補完等の検証を目的とした実証実験について、ステーション数を着実に増やしていくなど、利便性の向上を図る。								
	健康づくり関連事業と連携した周知、啓発	⑧健康づくり関連事業と連携した周知、啓発の実施	— (目標値なし)	市広報で自転車利用による健康増進を周知している一方で、健康づくり関連事業との連携が課題である。	引き続き、さまざまな媒体で情報を周知するとともに、健康づくり関連事業との連携実施を進める。								